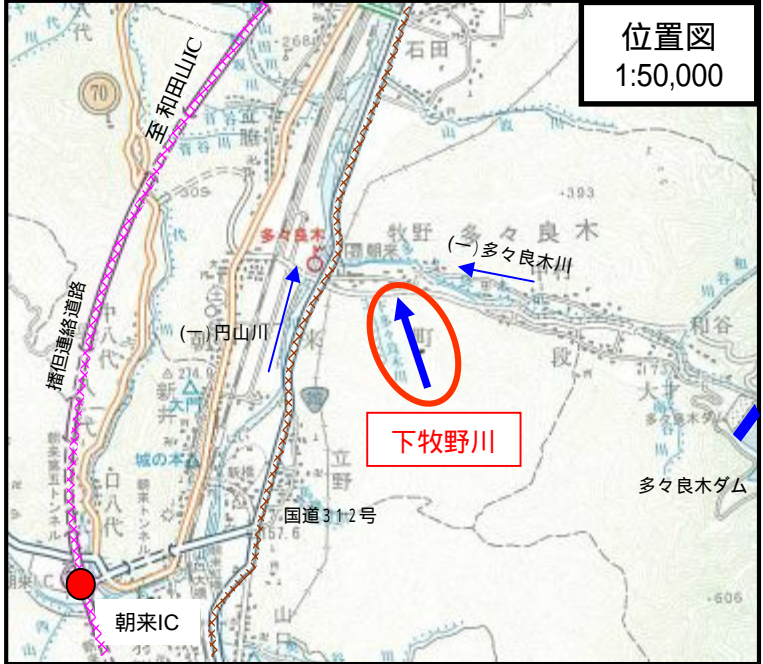
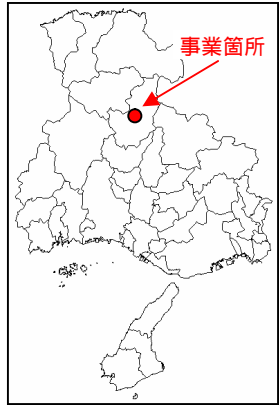


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		通常砂防事業 しもまきの 下牧野川	朝来市 たたらぎ 多々良木	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市多々良木				H 2 3	H 2 5
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 8.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系多々良木川に流入する土石流危険溪流 ・流域は、近年の降雨による溪岸の浸食が進み風倒木も発生するなど、流域の荒廃が進行している。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ200m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家20戸、公民館、市道</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・工事用道路として市道からえん堤設置位置までの寄り付きが容易であり、地元理解も得られていることから、円滑な事業実行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時に避難路となる市道の交通確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

しもまきのがわ
下牧野川
[朝来市]



計画概略図
縮尺 1:5,000

